

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	発達障害、動物介在療法、身体教育				
学位	経済学士、修士（リハビリテーション）				
学歴	1987年明治大学政治経済学部、1991年専門学校社会医学技術学院作業療法学科、2003年筑波大学大学院教育研究科、2017年首都大学東京大学院人間健康研究科単位取得退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	埼玉県作業療法士会（理事）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事）、動物介在教育・療学会（理事）、日本作業療法士協会、日本リハビリテーション連携科学学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修における受講後の発達障害支援	共同	第53回日本作業療法学会抄録集2019、福岡	○関小織、倉林早紀、押野修司、田坂翔太、川俣実	2019年9月	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	WEB講座第16回「死」を様々な視点から考える	共同	埼玉県立大学（ホームページ）	埼玉県立大学研究地域産学連携委員会（編集担当）	2020年2月	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	発達期作業療法学	○	15	子どもの定型発達（運動、認知、社会性、ADL）は動画教材を講義を講義を行った。		
2	生活環境技術学		4	学生の視野を広げるため、グループワークにより自助具デザイン、新規事業などを学生の目線から発表させた。		
3	小児保健看護学（健康開発学科）		1	小児期の成長発達の遅れを理解するために、小児期の障害と補助具の使用及び支援について講義を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	臨床作業療法演習		4.5	学生が臨地実習に必要なADL指導（更衣）の演習の補助とOSCEの1ブースの評価を担当した。		
2	生活環境技術学演習		3	コミュニケーション分野の支援技術、WindowsOSおよびiOSのアクセシビリティ機能の実習を行った。		
3	卒業研究ゼミナール	○	8	「卒業研究」手引きの作成、ゼミ配置の補助、卒業研究の進捗管理、卒業研究計画発表会の企画運営を行った。		
4	作業療法記録報告法	○	8	作業療法の記録報告に関する事項の講義及び、動画教材を用いて実際に観察した内容を、事実と考察に分けて記述させ添削した。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎作業学実習	○	15	臨床現場でよく用いられる作業について実習を行い、活動分析を実施した。グループで1つの活動を取り上げ発表した。
2	作業分析学実習		4.5	実際に革細工による小銭入れ作りの作業実習を行い、作業実施に必要な道具、工程、要求される機能などの活動分析を実施した。
3	発達期作業療法学実習		8	情報収集、観察、面接、発達検査について講義し、子ども、保護者との関わり方を学生に示し、観察記録の書き方を添削した。
4	IPW実習①		2019.8.19~22	4日間のケアプラン作成過程を通し、チーム形成を学ぶ支援を実施した。県立大学4名、城西大学1名、埼玉医科大学1名を指導した。
5	臨地実習Ⅰ-1		2020.2.17~3.6	2年次生を対象に、3名の学生の身体機能領域の臨地実習中間訪問を行った。
6	臨地実習Ⅱ		2019.4.8~7.19	4年次生を対象に、身体機能領域（3名）、精神機能領域（2名）の臨地実習中間訪問を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4~2020.2	主指導 6名	副指導 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	令和元年度厚生労働省指定第2回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）参加	2019.11.2~3	臨床実習指導者講習会の講師、スタッフとして協力できるように、講習会全体の内容把握のため参加した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①」補助講師	埼玉県発達障害総合支援センター	感覚の受け取り方の違いを知る	2019.9
2	「発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修②」補助講師	埼玉県発達障害総合支援センター	スムーズな体の使い方を育む関わり方を知る	2019.9
3	動物介在療法アシスタントコース講師	NPO法人動物介在教育・療学会	医療・福祉施設の専門職の役割と連携を講義し、実習では、現場再現ロールプレイで療法士役を演じた。	2020.9
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 日本作業療法士協会	事例報告登録制度 一般事例A審査委員		2019.9~2021.8
2	一般社団法人 日本作業療法士協会	日本作業療法学会 演題審査委員		2019.4~2020.3
3	一般社団法人 日本作業療法士協会	日本作業療法士協会 学術誌編集委員会 学術誌「作業療法」編集委員会 第二査読者		2019.4~2021.3
4	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	理事、学術部長		2019.6~2021.6
5	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	学術誌「埼玉作業療法研究」編集委員		2019.4~2020.3
6	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	第29回埼玉県作業療法学会 実行委員		2019.4~2020.6
7	日本リハビリテーション連携科学学会	学術誌「リハビリテーション連携科学」査読委員		2017.4~2020.3
8	日本リハビリテーション連携科学学会	日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会 実行委員（運営担当）		2019.4~2020.3
9	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	理事、人材育成事業検討委員（AATアシスタント）		2019.4~2020.3
10	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	学術雑誌編集委員		2019.4~2020.3
11	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	学術誌編集委員会 査読委員		2019.4~2020.3
12	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事、事務局会計委員長		2019.4~2020.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園	小学部重複障害学級巡回教育相談（指導者）	2019.9
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会委員		2019.4~2020.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会部員		2019.4~2020.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト 埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した職能団体と4大学のワークショップ（意見交換会）参加		2019.11
4	大学広報活動	埼玉県立大学創立20周年記念誌編纂委員会編纂協力員		2019.4~2020.3
5	大学広報活動	「保健医療福祉 お仕事GUIDE BOOK」制作担当教員		2019.4~2020.3
6	学科等における委員会等	臨地実習指導者会議 運営		2019.4~2020.3
7	学科等における委員会等	卒業研究発表会 運営		2019.4~2020.3
8	学生支援	障がい児支援サークル 輪・和・環 顧問		2020.1~2020.3
9	学生支援	学年担任（3年次）		2019.4~2020.3
10	学生支援	春日部市大学生政策提案コンテスト2019（1チーム5名）、第9回学生政策提案フォーラムinさいたま（2チーム10名）の指導教員を務めた。		2019.4~2020.3
11	学生支援	春日部市大学生政策提案コンテスト2019で優秀賞を受賞した1チーム5名の学生を推薦し、課外活動部門で学生が表彰された。		2019.4~2020.3
12	大学広報活動	埼玉県立大学創立20周年記念誌編纂委員会編纂協力員		2019.4~2020.3
13	大学広報活動	「保健医療福祉 お仕事GUIDE BOOK」制作担当教員		2019.4~2020.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				